



わたしたちは津別町を
こんなまちにしたい！

～子育て・未来への投資プロジェクト～

「チーム若者」

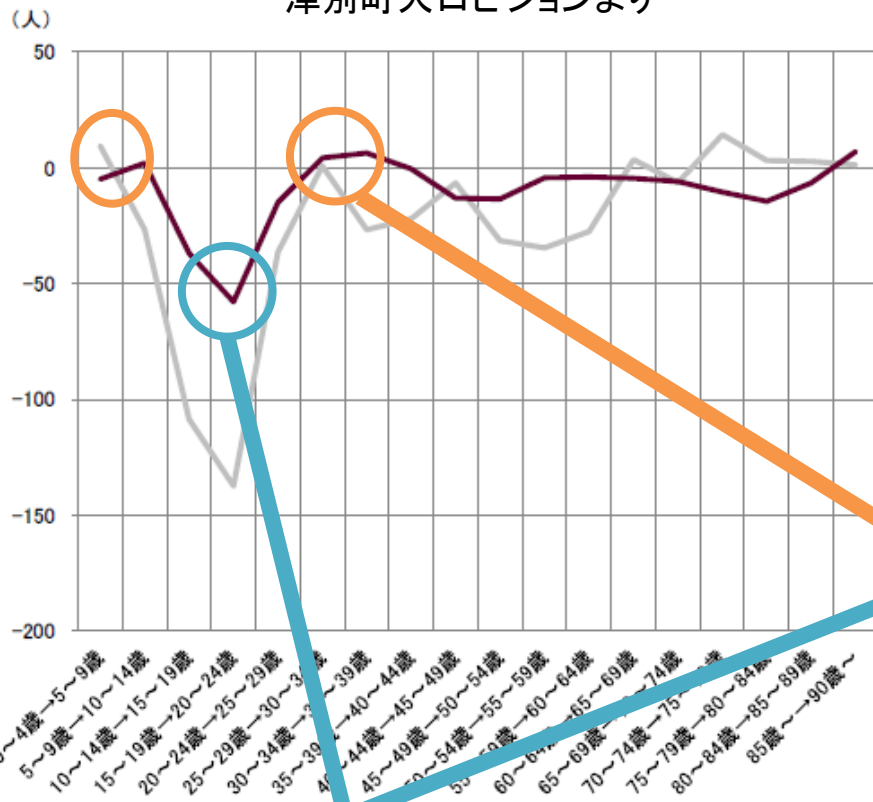
写真：津別町町勢要覧

どんな町が持続可能なんだろう？

20～30代の仕事があり、子供も育てられるまち

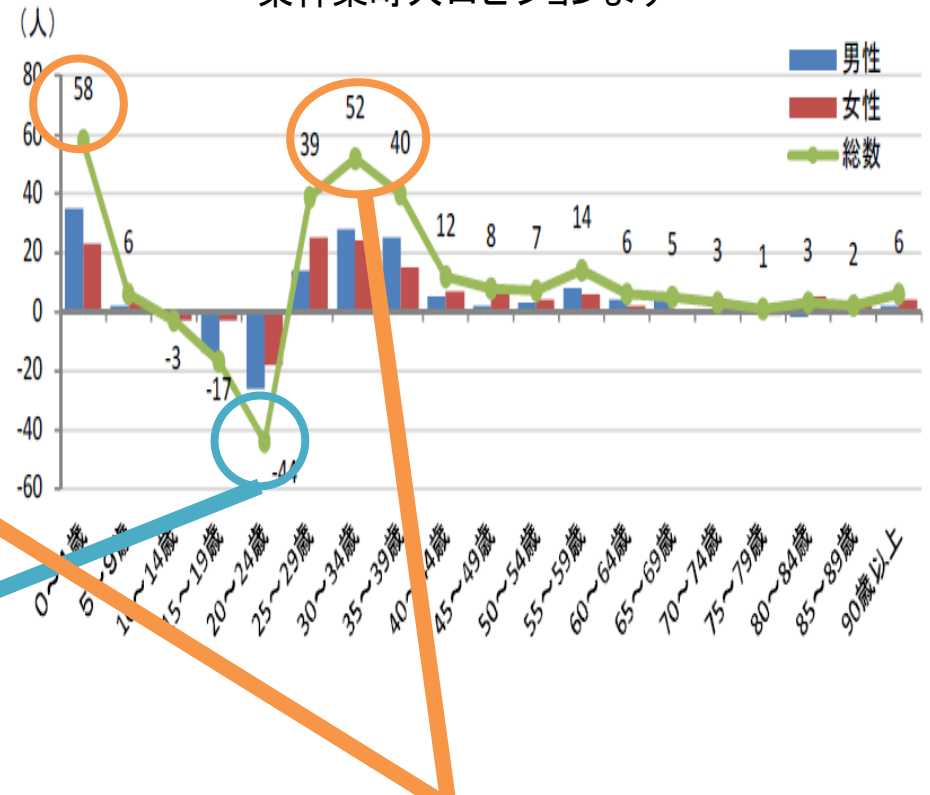
(10～20代に一旦出てくけど、20～30代のときに結婚、子育ての場所として選ばれてる。)

津別町人口ビジョンより



進学、就職で町外へ一度転出・・・。

東神楽町人口ビジョンより



地元に戻ってきて就職・子育てできるだろうか。

オホーツク圏で見た人の流れ

図表Ⅱ－15 周辺市町への人口移動(転入－転出者)の状況

<オホーツク管内>



津別町の人々は近隣の町に流出している。

オホーツク圏でみた人の流れ

○津別町は「働く場所」

町外から津別町に働きにくる人のほうが多い

美幌町に常住する人（町民）の 従業地（15歳以上）			美幌町で従業する人の 常住地（住んでいる場所）（15歳以上）			流入出状況 -<A> <small>（プラスは流入超過） （マイナスは流出超過）</small>	
	人数（人） <A>	構成比 （%）		人数（人） 	構成比 （%）		
美幌町に常住する 従業者の合計	10,524	100.0	美幌町に従業 する人の合計	9,997	100.0	▲ 527	
美幌町で従業	8,615	81.9	美幌町に常住	8,615	86.2	-	
美幌町外で従業	1,813	17.2	美幌町外に常住	1,177	11.8	▲ 636	
	北見市	579	5.5	北見市	665	6.7	86
	大空町	360	3.4	大空町	153	1.5	▲ 207
	網走市	333	3.2	網走市	140	1.4	▲ 193
	津別町	314	3.0	津別町	168	1.7	▲ 146

美幌町人口ビジョンより

これらを改めて整理すると、北見市に常住する者の2.9%が市外で従業、通学し、特に従業者については5.6%が市外で従業しているのに対し、北見市外に常住する者が北見市内で従業、通学する比率はそれぞれ2.4%と4.0%となっていることから、北見市から他市町村に従業、通学する者の方が、他市町村から北見市に従業、通学する者より多いことがわかる。 北見市人口ビジョンより

若者の声としては・・・。

他の町は**買い物**が便利。

子育て環境がいまいち

子供がのびのび**遊べる場所**が意外とない

子供の**通学費**を考えると転出したほうがよい。

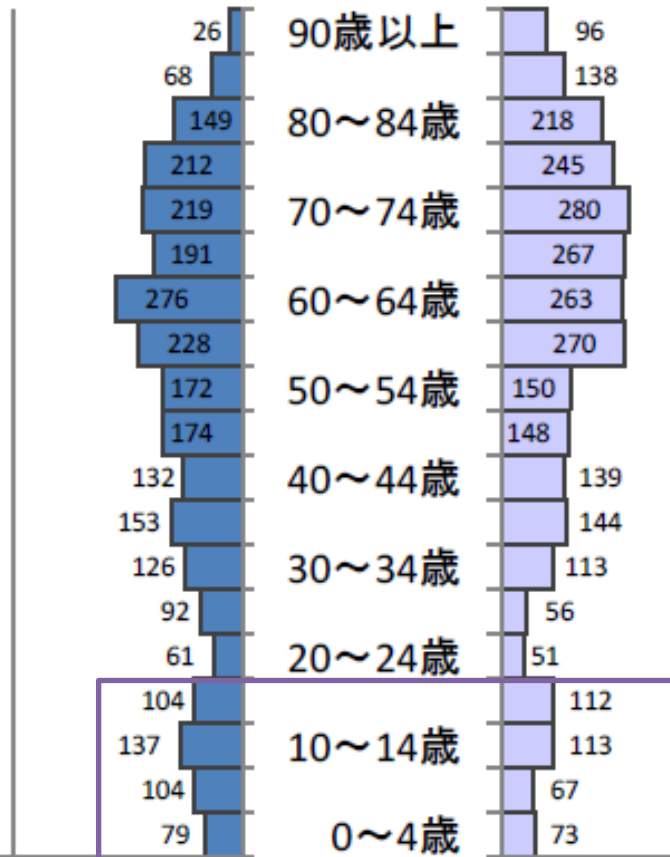
世帯むけの家が足りてない。



**子育てしやすいまちに変えること
で、人の流れが変わるかも！**

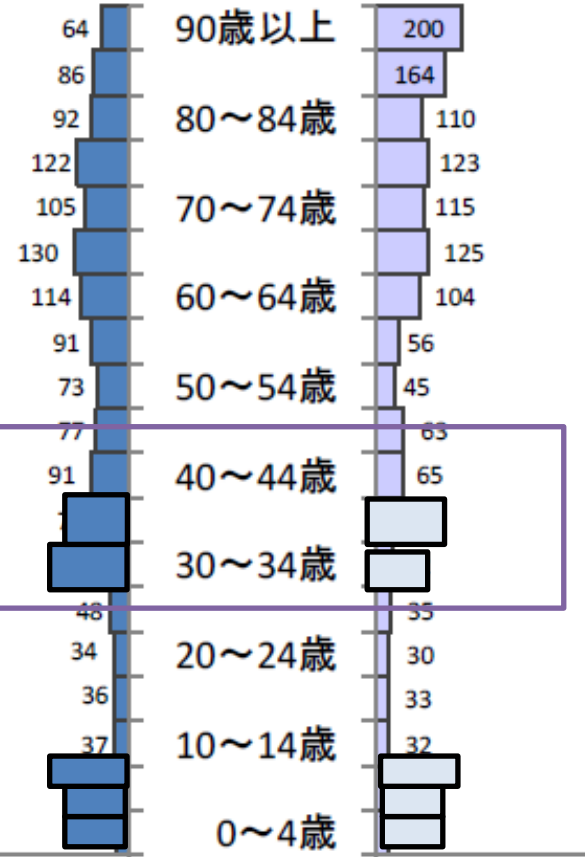
「子育て世代」特に「女性」のための まちづくり施策が未来への鍵

2010年 5,646人



少数だけど、
未来はこの世代にかかっている！

2040年 2,845人



津別町の分析

「強み」=雇用・補助の充実！

雇用はそこそこある。

空家解体補助で宅地のための空地ができつつある。

中学生まで医療費無料

認定こども園のハード整備

高校の補助の充実

「弱み」=生活環境・情報発信

まちなみが汚い。

買い物が何かと不便。

高校のイメージが悪い。

文化的な環境がない。

大学生がいない。

まちの情報を整理して発信できない。

これらからどんな施策をおこなったらよいか？

「機会」=ワカモノの勢い！

近年、地域企業でも若者の採用をしている。

筑波大学、船橋市との連携

地方創生の流れ

総じてつべつに何か勢いがある！

(UIJターン若者たちのイベントや六次産業化

「脅威」=北見市・美幌町

北見市、美幌町のほうが生活環境がよい。

訓子府にはCITYがある。

国全体で人口減少

「強み」 × 「機会」 = 「世帯向け住宅補助」

町の施策：移住促進住宅・補助の拡充



「弱み」×「脅威」＝「ツルハ&トドック誘致」

町の施策：公共施設の空き施設にツルハを誘致！トドック手数料を補助！



トドック

はまる太くんにおまかせ！



「弱み」×「機会」＝「子育て空間整備事業」

河岸公園や市街地にこんな空間があると、
子育て世代は集まる！



まる太くん
遊具！



噴水！

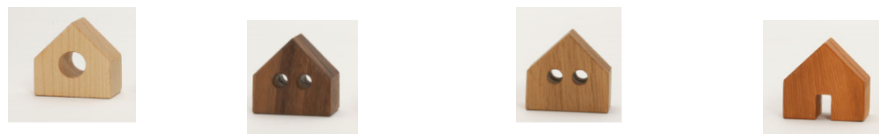


シゲチャン
デザイン！

「強み」×「脅威」＝ 「情報整理 & イメージ戦略」



子育て世代の口コミを広げたい！



子育てページは雰囲気よく！

情報は動画や見やすい工夫を！

まとめ：私たちが想う津別町とは？

持続可能

女性が安心して子育てができる！

オンリーワン

愛林の町ならではの雇用！

イキオイのある若者がいること！

10年後の都市計画を想像してみると



津別はこんなまちなみになる（イメージ図）



役場が・・・



買い物拠点に！



丸玉跡地が・・・



行政等の拠点に！

実現のために町長に支援してほしいこと

○若者の「未来への投資プロジェクト」

町の若者みんなでまちづくりを考えてみたい！
(まだまだアイデアベースの提案ですが…)

○財源の確保(未来への投資)

まちの外科手術ができるうちに実現したい！

※例えば4人世帯(夫婦、子供二人)が住むと

1世帯1年間合計: 2,480万円が町の財源となる。
(概算)

**津別町に住む子育て世代の女性が
幸せに暮らせるように・・・**